

る。

2. 本年は東北地方に焦点をおき昭和28年より本研究室で施行した「明治生活調査」を主な資料として研究を行なった。

3. 第二次世界大戦による在来の生活基盤の破壊及び著しい交通、産業の発達をもたらした衣生活の大変化に到るまでの過渡期として肌着、かぶりもの等から段々と西洋文明の導入されてゆく様子を究明。

#### C-74 近世以降に於ける農民服飾の研究（第8報） ——東北地方に見られる衣生活の進展——

和洋女大家政 鷹司 綸子

1. 人々の生活は政治が変わったからといって直ちに変わるものではない。それは幕末開港や明治御一新となり文明開化となっても農村生活が旧態依然としていたことで実証されると考えられる。然しながら都会に押寄せた文明の波が交通機関の発達と共に徐々に地方に拡がり、まず衣料に新風を吹きこみ、加えて人々の衣生活も次第に浸食して行ったのである。本研究はこうした農村の衣生活が如何なる変化をみたかについて行なったものであ